



令和 6 度入学式 式辞

79回生、249名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。つい、先ほど、皆さんは、中学生の制服に身を包み、新しい生活に対しての希望と、少しの不安を持ちながら校門を通ったことと思います。

さて、今、社会全体を見てみると、景気は好循環を見せており、良い方向に向かっていると言われています。DXにより、私たちの生活も便利で、よりよいものへと変化していくことになるでしょう。一方、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻が続いています。ガザ地区でも戦争が続いており、多くの人々が苦しんでいます。能登半島地震の影響もまだまだ大きく残り、多くの方が避難している状態です。よい意味でも、悪い意味でも、不確実性が高く、将来の予測が困難な状況です。

そのような状況下、新入生の皆さんは義務教育の後半、伝統ある二見中学校の一員となりました。皆さんは小学校最後の学年を様々な制限が解かれた状態で過ごすことができました。素敵な最上級生として様々な場面でリーダーシップを発揮し、活躍してきたことを聞いています。そこで培ってきた力を十分発揮し、活躍してくれることを期待します。皆さんの中学校での3年間は大変短いものですが、長い人生の中でも大きく心身共に変化する大切な3年間です。その中学校生活をどのように過ごしていけばよいのでしょうか。ふたつのことを話します。

まずひとつめです、何よりも自分のことをよく知り、そして自分を大切にしてください。人には得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。これから始まる生活には、教科の学習・部活動・友達関係・進路など、多くの出来事があります。思うように進めば問題はないのですが、うまくいかないことも多くあります。そんな時こそあるがままの自分を受け入れてください。自分のこと

をよく知り、大切にできる人は、他者のことも価値ある存在と尊重し、多様な人々と協働できます。是非、まず自分のことを大切にしてください。

ふたつ目には学校は間違えたり失敗したりしてもいいところだ、ということです。二見中学校の学校教育目標は「失敗を恐れず、挑戦を続ける人を育てる」です。様々なことに自分の意思でチャレンジしてください。様々な分野で活躍した方々の話している内容に共通することがあります。「何かに挑戦して、結果が失敗でも、そこから学ぶことの方が自分にとって大きい」ということです。間違えたり失敗したりすることからも、私たちは多く学ぶことができます。ただ、気をつけないといけないことがあります。同じ失敗を繰り返さないこと。そして、失敗した時にやめてしまわないことです。もしも、自分の近くの人々が失敗した時にはそのことを受け止めてあげてください。そうすれば失敗を恐れずに挑戦できる79回生になるでしょう。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これからの中学校生活3年間で、子どもたちは心身ともに大きく成長します。成長の過程では、大人に対して厳しい面を見せることもあります。一方、理想と現実のギャップに、悩んだり、不安が広がったりする時期でもあります。どうぞ常に目と心を離さず、よき相談相手となっていだきたいと思います。さらに、お子様が健やかに成長しますよう、教職員と手を携え、お力添えくださいますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新入生の皆さんの輝かしい未来と、ご出席いただきました保護者の皆さま、そしてご臨席いただきました来賓の方々のご健勝を祈念いたしまして、式辞といたします。

令和6年4月9日
明石市立三見中学校長